

常総市まち・ひと・しごと創生

総合戦略会議

会 議 録

と き 平成28年12月22日（木）午後2時から

ところ 常総市役所 第3分庁舎

平成28年12月22日(木)午後2時から、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を常総市役所「第3分庁舎」に招集する。

■会議日程

- 1 開 会
- 2 協議事項
 - (1) 議事録署名委員の指名について
 - (2) 常総市公共施設等総合管理計画(案)の決定について
- 3 その他
- 4 閉 会

■会議出席者

委 員	與座 清	飯田 ふじ子	喜見山 明	堀越 輝子
	塚本 治男	長岡 徳樹	中川 邦夫	北島 重司
	細野 真哉	本橋 美章	岡田 一夫	秋場 ふぢ
	北村 篤子	塩畑 実	倉持 創一	

筑波大学 生方 裕一 胡 曦澄

事務局 企画部長 加倉田 謙二(企画部長)
企画部企画課長 長妻 克美(企画課長)
企画部企画課行政改革推進係長 落合 宣之(行革係長)
企画部企画課行政改革推進係 伊藤 和芳(行革係員)
※()内は本議事録内での略称を示す。

(午後2時00分 会議開始)

行革係員：本日は、年末のお忙しい中お集まりいただき感謝する。定刻となったので、ただ今から常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催する。前回に引き続き、企画課行政改革推進係の伊藤が本日の司会を務めさせていただく。始めに、事前に事務局より配布した資料の確認を行う。

【資料の確認】

行革係員：①会議次第、②公共施設等総合管理計画（案）基本計画、事前に配布した資料はこの2種類だが、本日、追加資料として更に2種類配布させていただいている。③正誤表、④委員からの提案事項と提案事項への回答、資料は以上4種類である。なお、事前に配布した公共施設等総合管理計画（案）基本計画については、第2回目の戦略会議において委員のみなさまから頂戴した意見及び提案を反映させた形で配布させていただいている。資料の確認は以上となるが、不足等はないか。

【不足等の声なし】

行革係員：それでは、早速協議に移る。常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議設置条例第6条に基づき、本戦略会議の会長である塩畑副市長に議事進行をお願いする。

塩畑会長：年末の忙しい中にも関わらず、戦略会議に出席していただき感謝する。本日の議題である公共施設等総合管理計画については、これまで2回にわたりみなさまから様々な意見をいただき、取りまとめているところである。本日の戦略会議をもって、公共施設等総合管理計画を「案」として確定する。そのため、みなさまから忌憚のない意見をいただくとありがたい。本日は、生井委員、五木田委員、福田委員、倉田委員、山口委員から事前に欠席の連絡を受けているが、委員総数20名に対して本日の出席委員は15名となり、会議は成立する。それでは会議次第に従い、議事を進める。本会議は公開を原則とするので、会議録を作成する都合上、これまで同様にICレコーダーによる録音を行うものとする。あらかじめご了承ください。それでは早速協議に移らせていただく。協議事項（1）「議事録署名委員の指名について」であるが、議事録署名委員については、議長の方で指名させてよろしいか。

【異議なしの声】

塩畑会長：異議なしという事なので、これまで同様に委員名簿の下から順に、本日出席していただいた委員の中でまだ議事録署名委員をやられていない方をお願いしたい。よって、今回は倉持創一委員と岡田一夫委員、今回の会議では以上の2名を議事録署名委員として指名させていただく。なお、後日、事務局が議事録の署名をいただくためにご自宅へ伺うので、議事録の内容を確認のうえ、署名をお願いしたい。続きまして、協議事項（2）「常総市公共施設等総合管理計画（案）の決定について」、事務局から説明願う。

行革係長：協議事項に入る前に、正誤表に基づいた訂正箇所の説明を行う

【追加資料：「正誤表」に基づいた公共施設等総合管理計画（案）の修正】

行革係長：それでは、説明に移らせていただく。前回、公共施設等総合管理計画（案）について、総務省の指針に基づいて説明した。今回は、委員のみなさまから頂いたご意見・ご提案の総合管理計画への反映について、追加の資料に基づいて5つの提案の確認を行いたい。

【追加資料：「委員からの提案事項と提案事項への回答」説明】

行革係長：先に開催された市議会11月定例会議においても公共施設関連の質問を受けている。いずれにせよ、修正された公共施設等総合管理計画の案に記載されている基本理念にもあるとおり、「安心・安全な公共サービスを提供し続けるため、選択と集中により次世代へ負担を先送りしない」よう取り組みを進めていくので、ご理解とご協力をお願いしたい。なお、今後のスケジュールについて改めて説明させていただく。前方のスクリーンをご覧ください。

【今後のスケジュールの確認】

行革係長：今後、パブリックコメントや議会報告、庁議を踏まえながら決定することになるが、その過程において多少の文言等の修正が想定される。これらについては、今後軽微な手直しが入ることを承諾いただき、公共施設等総合管理計画の案とさせていただきたい。事務局からの説明は以上となる。

塩畑会長：ただ今事務局から説明があったように、これまでの意見を踏まえて、本日お示しした公共施設等総合管理計画の案は修正されている。全体を通して、皆様か

ら最終的な意見をいただきたい。意見のある方は挙手を行い、簡潔に意見を述べていただきたい。

北島委員：スケジュールについて2点質問がある。まず、1点目、公共施設等総合管理計画の策定期間が平成29年2月から平成29年3月に変更になったのは、議会や庁議の関係で延長になったのか。続いて2点目、公共施設等総合管理計画が出来上がったとして、その後どのような段取りで計画を進めていくのか。

行革係長：まず1点目、策定期間が変更になった点であるが、当初は市議会11月定例会議での計画策定の報告を想定していた。しかし、スケジュールが押しており、議会報告を経た後での総合管理計画確定を踏まえると、どうしても平成29年3月に変更せざるを得なくなったため、スケジュールを見直した。続いて2点目、総合管理計画が出来上がった後の進め方であるが、全庁的な取り組み体制の構築として庁内に専任部署を設置し、データを一元化したうえで優先順位をつけて進める。また、実際には耐震化がなされていない施設等もあるので、その点については早急に予算措置を行い、優先順位が高いものから順に積極的に予算化して進めていく。

企画部長：補足説明させていただく。2点目の計画策定後の進め方についてであるが、まずは市民や議会への説明責任を果たさなければならない。また、最終的な総合管理計画は今年度(平成28年度)中に完成させなければならないという事で、平成29年3月まで案を練って情報共有を行う予定だ。今後のあり方については、民間提案も踏まえ、市役所の予算だけでなくPPPやPFIの活用も考えていく。さらに、現状では公共施設の管理が複数の部署にまたがっているので、これらをマネジメントする専門部署が必要だと考えている。そこでプロジェクトチームを作ってマネジメントを行うなどの早急な対応が必要である。議会でも質問があったが、既に使われている公共施設で耐震化が施されていないものもある。そのような公共施設については、早急な対応が必要である。

塩畑会長：その他、ご意見等はあるか。

岡田委員：この公共施設等総合管理計画は全体的に幅が広い。よって、本日の会議の進め方として、章ごとに区切って進めてはいかがか。計画全体を通すと、意見が多岐にわたってしまう。

塩畑会長：承知した。それでは、総合管理計画の章ごとに区切って進める。まず、第1章について何か意見があるか。

【意見なし】

塩畑会長：続いて、第2章について、何か意見あるか。

岡田委員：「年齢3区分別人口及び人口構成の比率」(p.7)についてだが、人口減少・少子高齢化がいかに大変であるという印象が強い。実際のところ、少子高齢化は避けられない社会情勢であり「今後は少ない若年者で多くの高齢者を支える構造になることが予想される。」と明記されている。この総合管理計画では生産年齢人口を「15歳以上」としているが、現実的には働き始めるのは20歳ぐらいではないか。それを踏まえて、2060年位になると今以上に健康年齢も上昇するので、70～75歳ぐらいでもまだ働けるのではないかと考えられる。よって、あながち悲観するものでもないという感じがする。これは文言がどうのこうのというのではなく、そのように感じるというだけである。そうすると、p.7の人口ピラミッドのグラフの中で、20～24歳の区分と70～74歳の区分の間に挟まれる面積と、20歳以下・75歳以上の合計の面積には、大きな差はないように感じられる。国では、生産年齢人口は15歳以上と言っているのですがどうしても悲観的に感じてしまうが、それ程悲観するものでもないのではないか。また、経常収支比率(p.10)についてであるが、常総市の経常収支比率は茨城県内44市町村中で、上から何番目になるのか。経常収支比率について調べた結果、平成元年の時点では、合併前の旧水海道市・旧石下町とも70%程度で推移していたが、徐々に増加していった。ところが、平成17年以降は減少傾向にある。これが減少してきているということは、財政健全化に対する行政職員の努力のたまものであると思われる。この右肩下がりの傾向が、このまま続いて欲しい。

行革係長：常総市は県下44市町村の中で33位である。

塩畑会長：社会的構造については今後も変わるだろう。定年制が変わることで勤労者が増加する可能性もありうる。ここでの記載は「現時点で」という事でご了承いただきたい。その他、第2章について他にご意見あるか。

【意見なし】

塩畑会長：続いて、第3章について、何か意見あるか。

【意見なし】

塩畑会長：続いて、第4章について、何か意見あるか。

岡田委員：公共施設を20%削減（p.26）する中での「近隣自治体施設の相互利用の可能性」（p.28）についてだが、ただ単に建物を互いに利用しようという考えからもっと踏み込んで、広域施設の事業という形で実施できないだろうか。平成の大合併もあり、なかなか単独の市町村での運営管理は厳しいという中で、近隣である守谷市、坂東市、つくばみらい市、下妻市等を含め、現在でも広域連携という形で使われている施設もあると思う。その点も踏まえて、積極的に広域事業を考え、各市町村に大きな施設をひとつ建てるよりも、ひとつの施設をいくつかの広域で利用した方が効率的に使えるのではないか。この点は20%削減という目標を達成するためにも、頭に入れておいた方が良く考える。

企画部長：別途策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも広域連携は重要施策として明記されており、市としても課題として認識している。具体的には、つくば市を中心とした定住自立圏構想などがあり、これに関連する勉強会を12市町村で実施しているところである。県内では、水戸市での定住自立圏構想や、結城市と県域を超えた栃木県小山市との広域連携等の事例も多々ある。市としてもそのような事例を参考にしつつ、積極的に検討しているところである。

塩畑会長：その他、第4章について他にご意見あるか。

【意見なし】

塩畑会長：続いて、第5章について、何か意見あるか。

長岡委員：施設ごとの基本的な方針の中に吉野公園が抜けているようだが、これは吉野公園が公共施設と見なされていないということか。

行革係長：吉野公園も公共施設として考えている。吉野公園という名称はスポーツ・レクリエーション施設（p.33）として記載されている。あくまでこれは大枠を決めた基本計画なので、吉野公園を今後どうしていくのかということは明記していない。個別施設の具体的方針については、平成29年度以降考えていく。

長岡委員：市長とも話をしたが、現在の吉野公園には、公共施設として市からの出費がない。管理事務所の整備が整っておらず、テレビやラジオも配備されていない。きれいごとを述べるだけでなく、もっと踏み込んだ改善策を手短かにやってほし

い。総論的なことをやっているだけでは何もプラスにならない。早急に優先順位をつけて取り組まなければならない。ただ単に、地方創生にかこつけてやっているだけでは一過性に終わってしまうので、よりプラスになるよう実行できることを真剣に取り組んでいくということを、今後のスケジュールに盛り込んでいただきたい。第1回目の戦略会議でも述べたが、吉野公園には東京都足立区からの客が一番多く、次いで埼玉、千葉と続く。茨城県民は3割しか来場していない。吉野公園周辺を、圏央道常総インターチェンジと絡めて総合的な公共施設として、財政にプラスになるよう整備していくべきなのではないか。吉野公園周辺を整備することは、市にとっても大きな目玉になる。一過性に終わることなく進めてほしい。私は吉野公園の近隣に住んでいる者なので特に気がかりになってしまう。もちろん吉野公園だけではなく、常総市全体を考えて取り組んでほしい。あすなろの里も同様であり、公共施設として整備されているのであれば、より踏み込んだ議論をしてほしい。敢えて皆さんが言いづらいことを述べさせていただいた。

企画部長：貴重なご意見に感謝する。公共施設に関しては、「稼ぐ行政」として既存の施設を有効利用するべきと市長も述べている。現在、吉野公園の釣り堀の管轄は商工観光課が所管しているが、これを全庁的な面から優先順位をつけてマネジメントするための部署を平成29年度から設置する予定である。個別案件については優先順位や費用対効果を考慮しつつ、金融機関や民間の知恵を結集して進めていきたい。

塩畑会長：その他、意見等あるか。特に、これまで発言されていない委員の方に意見を求める。

細田委員：スポーツ・レクリエーション施設（p.33）の基本的な方針の中で「あすなろの里」という固有名称が明記されており、ここだけ個別施設として触れられている。あすなろの里は、それだけ優先順位が高いと理解してよいか。

塩畑会長：あすなろの里については長年の懸案事項ということもあり、特出しして明記しているところである。ところで、同じ金融機関関係者として本橋委員は何か意見はあるか。

本橋委員：常総市は、他の市町村と比べて水害の影響もあって策定が1年遅れたという事情もある。だからこそ早期に制定し、実行計画を進めてもらいたい。基本計画自体は、非常に良いものであると思う。

堀越委員：特定の章に対する意見というわけではないが、今後、日本の建築物も大きく変わってくるだろう。国の成長戦略に国産杉の集合材の活用（C L T工法：Cross Laminated Timber）が明記され、海外では集合材を利用した高層アパートが建てられたりしている。耐震性や耐久性について今までのR C構造以上の性能が期待されている。今後、70年以上の耐用性を持つ可能性のある建造物が作られるかもしれない。この流れにおいて、常総市としても地方創生ということで、さきほど企画部長も述べられていたが「稼ぐ行政」として自治体が自ら新しい知識や情報を積極的に取り入れて、新しいものを生み出していきたい。新しいものはなるべく少なくするとはいえ、公共施設についてもより魅力的なものが出来れば、長期的に見て費用対効果が高くなるのではないか。

塩畑会長：市民にとって利用しやすい施設をつくることは重要な事である。その他、第5章について意見等あるか。

飯田委員：社会教育系施設（p.32）に市立図書館が明記されているが、これは水海道地区にある市立図書館を指していると思われる。ところで、石下の地域交流センター内に図書館、というよりは図書室のようなものがあると聞いている。私自身、絵本の読み聞かせボランティアをしているが、その経験上、他のボランティアをしている方々が言うには、水海道地区の市立図書館と比べると明らかに蔵書が少ないと聞く。また、石下から水海道地区の市立図書館に行くには、時間もかかる。費用対効果を踏まえると仕方がないのかもしれないが、図書館を社会教育系施設と掲げるならば、石下地区の図書室もそれなりに考慮した方が公平という面から見ても適切なのではないか。地域交流センターの図書室に手を加えて少しばかり規模を拡大したり、レファレンスサービスのように市全体での資料提供や情報共有が実現できれば良いと考える。このような情報共有は、図書館に限らず、他の事業についても応用できるのかもしれない。また、読み聞かせボランティアとして市内の保育所を度々訪問するが、その際に、昨年度の洪水時の話が出ることがある。防災無線等の情報伝達網が整備されているとはいえ、場所によってはテレビなどの画面による情報が全く得られなかった保育所もある。特に、市内中心部から少し離れている第五保育所では、市内の洪水の様子がどうなっているのか、しばらく分からなかったという話も聞く。公共施設に経費をかけないことも大事だが、保育所や学校など、子ども達のためにも必要な場所に必要な物を配備していただければありがたい。

塩畑会長：地域交流センターは圏央道開通にあたりランドマークになり得る。圏央道開通に伴い、地域交流センター周辺地区のあり方については現在検討中である。そ

の中で、利便性を考慮した図書室のあり方についても検討することになると思われる。その他、意見等あるか。

長岡委員：五箇小学校は、生徒が少なくいつ廃校になってもおかしくない状況である。そのような学校については、つくば市と連携し、つくば市から生徒を集めれば良い。小貝川を越えれば、隣はすぐにつくば市だ。行政を跨ぐ改革や改善策が実現できれば、廃校にならなくて済むと思われる。小貝保育園は、既につくば市からも園児を受け入れている。是非、思い切った改革に取り組んでいただきたい。これが積極的な地方創生に繋がる。

塩畑会長：貴重な意見に感謝する。個別施設の対応については、新たに設置される専門部署において各々に検討する。これまでの意見も踏まえて検討していきたい。時間も限られているので、他になれば公共施設等総合管理計画の案の決定に移りたい。事務局から説明があったように、今後パブリックコメント等も踏まえてより良いものにしていきたい。このような形で、公共施設等総合管理計画の案として決定してよろしいか。

【異議なし】

塩畑会長：それでは3回にわたり、委員のみなさまから貴重な意見を頂戴し感謝する。これをもって公共施設等総合管理計画の案を決定し、今後の常総市の公共施設等の管理に取り組んでいく。今後ともよろしく願いしたい。これより議事進行を事務局に委ねる。

行革係員：大変貴重なご意見、ご提案、及び慎重なるご審議に感謝する。続いて、会議次第(3)「その他」に移る。事務局より1点連絡させていただく。塩畑会長からあったとおり、本日のこの場をもって、この公共施設等総合管理計画の案が確定した。先ほども行革係長より説明があったが、今後のスケジュールとしては本日決定された案を年明けの庁議にかけ、その後1ヶ月のパブリックコメントを実施する。提出されたパブリックコメント等を踏まえ、公共施設等総合管理計画の案を市議会の2月定例会議で報告する。その後、再度庁議にかけて最終的な公共施設等総合管理計画の決定となる。この段階で「案」が取れることになるので、最終的な公共施設等総合管理計画の決定は平成29年3月下旬となる。スケジュールについてはこのような形で進めさせていただく。その他、本日の会議全体を通して、あるいはスケジュールについてのご意見・ご質問はあるか。

【なしの声】

行革係員：それでは、以上をもって本日の戦略会議を終了とする。長時間にわたるご協力に感謝する。

(午後 3 時 0 0 分 会議終了)

